

令和8年度島根大学研究倫理セミナー



人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

生成AIの研究利用とリスク・その対応

本講演では、研究活動における生成AIの活用と、それに伴う研究公正上・倫理上の課題について解説します。生成AIは、論文執筆や文献調査、研究アイデアの整理など、研究活動を支援する有用なツールとして急速に普及しています。その一方で、ハルシネーションによる誤情報、盗用や著作権侵害、個人情報・機密情報の漏えい、バイアスの問題など、適切な利用に向けて留意すべき課題も存在しています。本講演では、研究現場における具体的な事例を紹介しながら、生成AIを活用する際の留意点、研究倫理・研究公正の観点から求められる考え方や対応について分かりやすく解説します。

講師：

信州大学 医学部
公正研究推進講座 助教（特定雇用）
一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）客員研究員

ヒカサ チエ
樋笠 知恵 氏

略歴：

専門は研究倫理・研究公正および生命倫理。上智大学法科大学院修了後、中央大学日本比較法研究所、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所、ドイツ・ヴュルツブルク大学法学部ロボット法研究所等で研究・教育活動に従事。現在は信州大学医学部公正研究推進講座助教（特定雇用）、一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）客員研究員として、研究倫理・研究公正に関する教育・啓発及び研究支援を行っている。

日時：

2026年 10月 2日（金） 15：00～16：00

▶オンライン講演（Formsから申し込むと開催URLが自動配信されます）

申込Forms：

<https://forms.office.com/r/nQT2fsdcp6>

申込QRコード



お問合せ先：

島根大学 研究・地方創生部 研究推進課

Tel: 0852-32-6012（内線2148 出雲キャンパスからは9-2148）

Mail: rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp

対象：

島根大学の全教職員、学生

